

(代表質問)

質問日	令和6年6月4日(火)		質問方式	分割方式		
質問順位	4	会派名	公明党	議席番号	37	氏名 黒田 豊
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名
1 区のまちづくりについて	人事考課をみると、部長・担当部長・区長等の役割・定義に「部の統括者・市行政の経営者」とあり、確実に習得すべき能力として、「市政の課題と組織の人材育成の関係性を示すことができる力・決断する力・方針を管理する力・人材を育成する力・変革する力」とある。この意味において、部長・担当部長・区長等はまさに行政の経営者であり、統括者である。 本日の代表質問は、主に、部長・担当部長・区長に経営者の視点と「まちづくり」という総合的な視点から問うこととした。 新3区が独立した自治体として運営するという視点で伺う。 (1) 天竜区長として、何を区の課題と捉え、それに対して区長としてどう取り組み、区のまちづくりをしていくのか伺う。 (2) 浜名区長として、何を区の課題と捉え、それに対して区長としてどう取り組み、区のまちづくりをしていくのか伺う。 (3) 中央区長として、何を区の課題と捉え、それに対して区長としてどう取り組み、区のまちづくりをしていくのか伺う。 (4) 様々な指標や特性に差異がある3区それぞれを最大限に生かす運営について、朝月副市長に伺う。					仲井天竜区長 野田浜名区長 岡安中央区長 朝月副市長
2 中心市街地のまちづくりについて	長年課題となっている中心市街地のまちづくりについて、以下伺う。 (1) 中心市街地活性化ビジョンと工程表の策定について (2) 中心市街地活性化ビジョンや基本計画の策定のために、庁内では若手職員を中心としたPTを立ち上げ、市民に対しては、オンラインで合意形成に役立つプラットフォーム「L i q l i d (リクリッド)」を用いて検討すべきと考えるが、どうか伺う。 (3) F U S E等中心市街地にスタートアップが集積してきている。イノベーション創出には至っていないが、昨年度末に「はままつスタートアップ・イノベーション拠点連携ビジョン」も策定したと聞いている。目指すべきは、本格的なイノベーションの創出であり、中心市街地活性化に寄与することにも期待をしている。 そこで、これまでのスタートアップ支援の成果と、イノベーション創出に向けた取り組みについて伺う。					北嶋産業部長 〃 川路スタートアップ推進担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
3 道の駅を核としたまちづくりについて	現在、遠州灘海浜公園篠原地区において公園整備が進捗しているが、本市においてもさらなる交流人口の拡大や、新たなにぎわい創出など、相乗効果を高めるための道の駅構想が進んでいる。 そこで、以下伺う。 (1) 令和 5 年度に検討した道の駅及び周辺地域の活性化構想の状況について伺う。また、まちづくりには欠かせない交通アクセスについて伺う。 (2) 併せて、防災道の駅の検討状況について伺う。 (3) 現在、検討中の道の駅にトイレトレーラーなどの高付加価値コンテナを設置し、防災機能強化を図るべきと考えるが、どうか伺う。	中野市長 〃 石田危機管理監
4 スポーツのまちづくりについて	市長は「スポーツ施設を核としたまちづくりに取り組んでいく」と議会においても発言されているが、スポーツのまちづくりについて市長をはじめ関係部長に伺う。 (1) 第 3 期浜松市スポーツ推進計画とスポーツ施設のランドデザインについて伺う。 (2) 浜松アリーナの大規模改修に伴い、「みる」「ささえる」アリーナとして、どのように整備するのか伺う。 (3) 四ツ池公園の再整備計画の進捗状況について伺う。 (4) スポーツのまちづくりと、それに係るスポーツ協会の役割について伺う。 (5) 地域スポーツ振興と、それに係るスポーツ協会の役割について伺う。 (6) 部活動の地域移行について スポーツのまちづくりを考えるときに、全庁的に推進すべきは部活動の地域移行である。令和 8 年度から本格施行となっているが、いまだ、具体的な方策は見えてこない。その一つの要因は、指導者の確保とその報酬などの詳細が明確でないことではないかと推察される。 そこで、以下伺う。 ア 中体連などの大会は土日開催となるが、生徒の引率についての考え方を伺う。 イ 課題の一つに指導者の確保がある。そこで、野球であれば社会人野球 OB 会や軟式野球連盟などに協力依頼することが考えられるが、どうか伺う。 ウ 具体的な指導者の必要数を明らかにし、予算を試算することが必要であると考えるが、どうか伺う。 エ 地域クラブ指導者には報酬が発生すると思うが、その財源の考えについて伺う。	中野市長 〃 杉田スポーツ振興担当部長 〃 〃 奥家学校教育部長 〃 〃 鈴木財務部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 サステナブルな農業で持続可能なまちづくりを	持続可能なまちづくりとよく耳にするが、切っても切り離せないのは、市民の命を守り育む農業であり、天竜の森林であり、サステナブルな農業である。しかし、現在、農地や森林は重要な資産であるにもかかわらず、活かし切れていないのが現実である。人が生きるために農業や森林が創造する価値は、計り知れず、私たちはそのことを深く認識しなければならない。 そこで、以下伺う。 (1) 新たな浜松農業の創出について 農業もイノベーションの時代であり、A I など先端技術の活用や大規模化の時代となっている。そこで、農地を最大限に活かすために先進的な農業事業者の参入やそのノウハウの地域展開など、新たな浜松農業の創出ができないか伺う。 (2) 森林環境税と森林環境譲与税の使途について ア 本年度から森林環境税が始まるが、森林は天竜区だけの資源ではなく、本市全域に大きくかかわっている。市民は天竜の森林から様々な恩恵を受けていることを認識するとともに、水源涵養や国土保全など、森林の重要な役割の理解促進のための取り組みが今こそ必要だと思うが、どうか伺う。 イ 森林環境譲与税の使途について、新規や特色ある事業、さらには森林保全や林業振興のための投資に充当すべきと考えるが、どうか伺う。	清水農林水産 担当部長 清水農林水産 担当部長 鈴木財務部長
6 危機意識を醸成するまちづくりについて	市民の危機意識醸成のための、継続的な施策が必要であると考え、以下伺う。 (1) 防災意識の醸成の最たるものは防災教育である。これまで児童生徒への防災教育の重要性について質問してきたが、学校現場での防災教育の現状について伺う。 (2) 大災害時、必ず経験すると思われることに避難生活がある。在宅避難生活や避難所生活があるが、特に避難所生活を事前に経験することは、災害時大いに役立つこととなる。 そこで、以下伺う。 ア 地域の避難所運営訓練の定期開催を誘導すべきと考えるが、どうか伺う。 イ 災害時、在宅避難の高齢者・障がい者等への見守りや健康支援などについての考えを伺う。 (3) 地域福祉計画に掲載されている災害ボランティアコーディネーターの役割と養成の考えについて伺う。 (4) 地震対策推進事業が令和 7 年度で終了予定となっている。令和 8 年度以降も中山間地域の住宅耐震化率 100% 達成のため、地震対策推進事業の継続が出来ない	奥家学校教育 部長 石田危機管理 監 小松健康福祉 部長 小松健康福祉 部長 濱田都市整備 部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	か伺う。 (5) 救急救命意識の醸成について、以下伺う。 ア 統合型位置情報通知装置の特性と、新たに導入された映像通報119の機能や効果及び市民への啓発の現状と今後について伺う。 イ 現在のAED設置状況と、市民への操作方法の周知、さらにはコンビニ全店への設置について伺う。	太田消防長 平野医療担当部長